

NEWS RELEASE

2013-17

2014. 3. 4

「宝塚駅」の出発合図音を変更します 宝塚本線は「すみれの花咲く頃」、今津線は「鉄腕アトム」に ～ 阪急電鉄では初めて！ ご当地ゆかりの楽曲を“出発メロディー”に採用 ～

阪急電鉄では宝塚歌劇100周年を記念して、3月21日（金・祝）初発より宝塚駅における列車出発時の合図音を、宝塚本線は「すみれの花咲く頃」のメロディーに変更します。あわせて今津線は、宝塚に馴染みの深い手塚治虫氏の代表作「鉄腕アトム」のメロディーに変更します。

なお、阪急電鉄が駅のご当地にゆかりのある楽曲を“出発メロディー”に採用するのは初めてです。

宝塚駅の宝塚本線の出発メロディーに採用する「すみれの花咲く頃」は、宝塚レビューの父として知られる宝塚歌劇団の演出家・白井鐵造氏が、1930年上演の「パリゼット」の主題歌として訳詞したもので、宝塚歌劇を代表する楽曲のひとつです。一方、「鉄腕アトム」は、手塚治虫氏の名作アニメ「鉄腕アトム」の主題歌（作詞：谷川俊太郎、作曲：高井達雄）として、大人から子どもまで幅広い年代に知られ、親しまれています。また、手塚治虫氏は、5歳から24歳までの約20年間を宝塚で過ごし、宝塚歌劇とのゆかりも深いことから今津線の出発メロディーに採用しました。

今般、宝塚歌劇100周年にあわせて、宝塚の玄関口である阪急電鉄「宝塚駅」の出発メロディーに、これらの楽曲を採用することで、「宝塚駅」により深い愛着をもってご利用いただければと考えています。

詳細は次のとおりです。

■変更日

2014年3月21日（金・祝）初発より ※宝塚本線、今津線とも
（宝塚駅は、宝塚本線と今津線の結節駅です）

■出発メロディーについて

- ・宝塚本線 …… 「すみれの花咲く頃」 鳴動時間：12秒（シンセサイザー音）
- ・今津線 …… 「鉄腕アトム」 鳴動時間：12秒（シンセサイザー音）

（以上）

※ご参考 2014年に宝塚市は市制60周年、宝塚市立手塚治虫記念館は開館20周年を迎えます。

【ニュースリリース配布先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、宝塚市政記者クラブ